

国語の授業の課題

- 1 課題とまとめが合っていない授業が見られます。
- 2 生徒が既習事項を基に主体的に思考・判断・表現していない授業が見られます。
- 3 教師が示した「話し方・聞き方」「書き方」「読み方(読みの視点)」などに偏り、相手や目的等を意識していない授業が見られます。

授業改善のための取組として(案)

□ 単元の目標を踏まえた本時の課題とまとめを位置付けましょう。

- 国語科の学習課題は次の例を参考に設定する。
 - ① 単元の指導計画でどの部分的な言語活動を行うかを確認する。
 - ② 学習課題を適切に設定する。

- 例 1) 単元で扱う指導事項に基づいた課題
・「紹介する目的や方法に応じて要約の仕方を考えよう」(第1学年指導事項Cイ)
- 例 2) 言語活動に基づいた課題
・「図表が果たしている効果について考えよう」(第1学年言語活動例イ)
- 例 3) 単元で扱う指導事項と言語活動を合わせた課題
・「説明文を読み比べて主張がよく伝わる表現の仕方をまとめよう」(第2学年指導事項Cウ, 言語活動例イ)

- まとめは、本時の学習を通してどのようなことがわかったのか、振り返ることができるようにする。上記の学習課題例1の場合のまとめであれば、例えば、「紹介する目的や方法に応じて文章全体を大まかに読んだり、詳しく読んだりして、中心となる文や言葉を考えて要約する」などを板書で示す。

□ 学習の系統性を踏まえ、既習事項を活用させましょう。

- 学習指導要領の指導事項の系統性を踏まえ、生徒の既習事項の定着の状況を確認する。
- 既習事項を活用し、課題を解決することができるよう、授業のノートやワークシートなどを振り返り、学習の見通しをもたせる。
- 各領域の既習事項を意図的に活用するよう促す。

□ 言語意識(相手・目的・場面・方法・評価)を高める工夫をしましょう。

- 言語意識を明確にし、生徒が主体的に思考・判断・表現する学習活動を位置付ける。
- 相手や目的、多様な場面や状況などにふさわしい表現や内容となっているかを振り返らせる。

【コラム】 部分的な言語活動の工夫

国語科の学習では、言語活動を通して指導事項を指導することから、単元を貫く言語活動を位置付け、学習過程の各段階における学習活動(部分的な言語活動)を工夫することが大切です。

【単元の日標】

文章に表れているものの見方や考え方、構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつことができる。
(第2学年指導事項Cウ・工)



【学習過程の各段階における学習活動(部分的な言語活動)】

- ・好きな本を選んで読む。
- ・描写や登場人物の言動の意味を考えながら読む。
- ・文章の構成や展開などについて考えたことを交流する。

【単元を貫く言語活動】

短編小説を読んで、内容や表現の仕方について感想交流会を行うこと(言語活動例ア)